

夕刊
発行所 伊藤隆次
編集 小島清吉
印刷 常務印刷社
日刊日曜日休刊
一部二部 一月月三十日
廣告料 一行五十銭

# 小名濱坑の開坑に伴ひ 磐炭で湯小線敷設か?

事案なら平小鐵道線競争奪取解消

世界大戦以來の好況に隨つて湯小線敷設計画が實現す。本縣湯小並に製造高一千...
磐城炭礦が新坑小名濱坑のれば「片濱廻り」湯本廻り...
開鑿に着手し四ヶ町村にまたる多年奪取運動の渦中にある...
たがる百六十坪の礦區をつた平小鐵道線敷設問題...
擁して飛躍の巨歩を踏み出すが自ら解消すること...
したことは既報の通りである。平小市會に於ける例の「白あぐり」漁業等が協同經營...
るが磐炭はこの年産五萬紙還元」の決議及びこれに氣運と接見、これが協長に...
トに達する石炭の輸送機關として此種協同經營の當然龍頭方針を定めたことは注目さ...
關として湯小、小名濱間に蛇尾に終るより外はあつる...
私設鐵道を敷設すべく計画しとされてゐること及びあ...
中と云はれ果して事實とする時期における平小鐵道...
れば其の生ずる各方面への「片濱廻り」實現に可成り濃...
影響は甚しきものがあるが厚く光明を附與された事だ...
あらう、最も興味ある點は

## 節約、代用品使用等 漁業家も時局に對應

協同經營の氣運も濃厚

縣水産課では農林省から本縣ねり節約方法、代用品...
縣水産課の石油正統實施使用等に新な對策を講じ職...
後における節約の實際についで時局における本縣漁業者の...
いて報告を求められ過般米方強い實例を左の如く取り...
谷技手、加藤主司補を演通まとめて此種農林省に報告...
りに派し各漁業組合の經營した、經營上可なり不自...
状況を確認せしめたが、何由が感ぜられるが、經營を...
れも物資給制の不自から合理化した結果は十二年度

クヌシリ
資生堂

産馬組合長改選
石城産馬組合では六日前午後十時上機運轉手は酒井金之助...
十時から評議員會、同十一(寅)君

郡下の夏蠶好成绩
出繭は來月五、六日頃

時から總代員會何れも平市...
郡團體事務所樓上に臨時總...
會を開き組合長安島重三郎...
氏が八月二十二日をもつ...
て期となる改選を行ふ筈...
であるが組合に於ける現在...
の情勢では安島氏の再選と...
なる模様である

雑夫奇禍
磐城村大字土湯長谷小野田...
炭礦主大西金藏(五)君は...
五日午前八時頃同礦より捨...
た焼玉方法を改善し玉時...
間なしに直ちに廻轉せし...
めてゐる、その他

日立式モートル
福島縣下特約店
平市五丁目
釜屋商店
電話機部
振替口座〇五九番

平署へ五名配置
警察練習所卒業式は四日舉...
行、卒業二十八名中平署へ...
は左の五名配置
沖田文平、安藤二郎、池...
田敬夫、鈴木要、見玉正夫...
パラチプス。平市長橋町...
六三川崎發金さん義弟岡田...
忠敬(五)君は四日パラチ...
プスと決定、かく離された...
遺家族慰問。平市では今...
五日市內應召兵の遺家族慰...
問を行つた

愈々今晚
友長講二席
磐城座
新作戦火に立つ

後田 義之助	近藤 安雄	福尾 伊太郎	西丸 猛	小野 長松	小濱 長太郎	岡山 重喜	高木 惣治	菅原 勳	飯塚 藤右衛門	長瀬 要	松本 房之助
藤社 重吉	三代 義勝	吉賀 要平	野崎 昇太郎	野崎 貞行	丹 清治	木田 谷平	比佐 政種	立花 雄七	田中 權次郎	立花 秀吉	小松 重兵衛

小名濱町會議員



★ 巷の★

花柳界恩人としての芳賀とく子さん

芳賀とく子さんと丈では揚子江の休養時期であり出...

も早くナルちゃんの花柳界恩人としての芳賀とく子さんが...

健全第一主義 企業への出発 郡山無盡小名濱出張所

外科、花柳病科、内科、小児科、レントゲン科

草野醫院 小名濱町中町 電話一七三番

謹告 (律昌院) 新盆二付テ提灯供物等ノ御厚志ニ對シ時局柄乍勝手御遠慮申上候間不悪御諒承被下度願上候

森合齒科 院長 森合芳男 電話七十一番

各家庭の皆様へ 臨時に御手不足の際は本會へ御申込下さい病人の看護御産の御手傳維婦に至る迄一日でも一週間でも御随意に派遣致します

暑中御伺 御寫眞の御用命は 尾城寫眞館へ 小名濱町中島通り 電話一〇四番

益の御用意は是非當店へ 佛壇、塗位牌、佛金具類 佛具取揃へてあります

鈴木齒科醫院 院長 鈴木正 小名濱町中町

開院 小名濱町沖見町一ノ七 (辨天橋町一直線の海岸通) 内科、小児科、花柳病科 西山醫院

涼味満點 サービス嬢の装ひも 萬點に御待ち申して 居ります

小名濱運送株式会社 宅扱と小口扱貨物は 警城海岸軌道線指定

壽しの味覺 江戸前小料理 酢酒は生一本 杵すし支店